

高麗人が開いた高麗の里 「高麗郡」設置から1300年

高麗神社の高麗宮司に聞く

現在の日高市、飯能市の
 一帯は、大和朝廷の時
 代に朝鮮半島から渡来し
 た人たちが集まって住み
 「高麗郡」を形成した。

高句麗の王族で高麗郡の
 初代郡司であった若光を
 祀ったのが高麗神社だ。

まもなく高麗郡建郡1
 300年を迎え、地域で
 は高麗神社を中心に様々
 な記念行事を企画してい
 る。若光から60代目にあ
 たる高麗神社の高麗文康
 宮司に歴史などをお聞き
 した。

高句麗からやってきた若
 光

この地に1300年前
 に渡来人が移り住み、高
 麗郡が設置されたとのこ



高麗神社鳥居と参道

とですが、それはどのよ
 うな経緯からですか。
 高麗 高麗郡は、そもそ
 も高麗の王（コキシ）若
 光という人物が任命され
 て長となり、716年に
 当時東国と呼ばれていた
 今の関東地方の7つの国
 から高麗人（こまびと）

が移って住んだことに始
 まります。その数が17
 99名であったと「続日
 本紀」に記されています。
 「高麗人」とは？
 高麗 ここで言う「高麗」
 とは、朝鮮半島中北部か
 ら中国の東北部にかけて
 存在していた高句麗とい

う国のこ
 とを指し
 ます。こ
 の高句麗
 が668
 年に滅びるんですが、
 その前後にかなりの数
 の高句麗人が日本に渡っ
 てきています。国難を逃
 れてきたということにな
 ります。彼らのことを渡
 来人と呼ぶことが今は一
 般的になっています。彼
 らのうち東国に移り住ん
 でいた人たちが相当数あつ
 て、そういう方たちがこ
 の場所に移ってきたとい
 うことになりました。
 若光とはどのような人
 だったのですか。
 高麗 最初の郡の長官に
 なった若光については、
 謎の多い人物ですが、と
 ころどころ正史に登場し
 てきます。最初に出てく
 るのが「日本書紀」で、
 天智天皇5年の年に高句
 麗からやってきた使節団
 の1員として、「文武若光」
 という名前が記されてい

ますが、おそらくこの方
 がこちらのご祭神の若光
 であると考えています。
 とすると、西暦で666
 年という年、高句麗が滅
 びる直前に渡ってきてい
 ることになりました。しか
 も使節の1員としてです
 から、当然高句麗の危機
 を回避するために大和に
 向けて派遣された使節団
 としての意味があつたの
 であつたといつて可
 結句高句麗は668年
 に平城が陥落し、実質的
 に滅んでしまうことにな
 りますので、若光は帰る
 ことができずそのまま大
 和朝廷に仕えるというこ
 とになったのです。若光
 はその後大和朝廷から
 「従五位下（じゅうごい
 げ）」という位に叙せら
 れ、大宝3年に「王（こ
 きし）」という姓を賜つ
 て、最終的には716年
 には高麗郡の長官として
 やってきてここで亡くな
 るといつことになりました。
 その過程で高麗神社の

創建はどう関わるのです
あつたわけです。

高麗 高麗神社の
創建は高麗郡の建
郡と無縁ではあり
ません。若光と
いう人物は、高句
麗の王族であつた
と言われています。

だからこそ大和朝
廷でもそれなりの
立場で扱われたと
推測しています。

日本に来ていた高
麗人にとつても特
別な存在でしたが
ら高麗郡の中で特
別な地位に就き、
亡くなつた後はそ
の御霊をお祀りす
るために、靈廟を
建立し、それを高
麗明神と称しました。こ
れが高麗神社の創建に至
る経緯です。

高麗神社は祀られてい
る方、最初に作つた方も、
いずれも多くの人が自
分たちのことを高麗人と
して自覚をしている人で



本殿

今日高市と飯能市にま
たがる地域だつたと考え
られています。それ
が時代が下
るにしたがつ
て郡域が少
しずつ東の
方に広がつ
ていったと
いふことで、

高麗郡は明
治29年に廃
止されます
が、その直
前頃の郡域
は日高市の
全域、飯能
市、鶴ヶ島
市のほぼ全
域、あとは
狭山市では
柏原とか水富

という地域、入
間市は元加治の
あたり、川越は
霞ヶ関、的場、
名畑という地域まで含ま
れていたといふことです。

狭山、島ヶ鶴から能飯、高麗郡 高麗郡が明治まで残つたのは驚きですね。

高麗郡が明治まで残つたのは驚きですね。

高麗 高麗郡という名が
残つても実質的な意味が
あつたかどうかという問
題はありますが、名称
が変わらずに残ってい
ただけでも興味深いで
すね。

高麗郡ができるまで、
ここは未開の原野だつ
たのでしようか。

高麗 飯能とか日高地
域の遺跡の発掘状況を
見ますと、縄文時代の
遺跡がよく出てきます。
ですので、この地域が
人が住めない土地であつ
たといふことではない
ですね。むしろ住みや
すい地域でした。

ただし弥生時代以降
の遺跡は急激に減つて
いき、高麗郡建郡前夜
の古墳時代あたりの遺
跡は現在のところない
と言つてよいくらいで
す。こつしたことを考
えると、当時の日高、飯
能の地域は、人はほとん
どいない、空閑地のよう
な感じだつたらうと思わ
れますね。

高麗さんのお宅は高麗
郡の郡司という郡の長で
あつたといふことですか。
高麗 そつです。

若光の真系のですか。
高麗 若光の血筋を引い
ているというのが高麗家
の言い伝えです。若光が
初代の郡司です。

高麗という姓は郡司だ
けが使つたのでしようか。
高麗 初期のころは高麗
を名乗っている人は結構
いらつちやつたよつです。
ある時期からは、高麗と
いふ字は郡名だからみ
だりに誰でも使わないよ
うにといふことで申し合
わせをしています。高麗
家の家督を継ぐといふか
本家に属する者だけが名
乗ることにし、もし分家
をしたり、別家をしたり
した場合高麗という名を
名乗ることはまかりなら
ないといふことにしたよ
うです。その時に出てく
る名前が「高麗井」とい

1799人が移り住ん
だ高麗郡は、現在の地図
で言えばどの辺なのでしょ
うか。

初期の高麗郡は今の日高
市、飯能市

初期の高麗郡は、
飯能 初期の高麗郡は、

若光から60代続く高麗家

う名であるという一文が家系図に出てきます。

高麗さんのお宅は代々神社の宮司さんを務めていたということですか。

高麗 有様は時代によって様々で、宮司家という言い方が正確ではないですが、神社の管理をしたり祀りごとを司ったりとかをしています。

今何代目なのですか。
高麗 若光が初代で私が60代目に当たります。
60代前まで家系がわかることはすごいことですね。



高麗宮司

高麗 そんなにはいないでしょうね。

他に続いている家はありますか。

高麗 この土地で家系図まで持っている家は多分ないだろうと思います。ただ言い伝えとして「高麗井」という名のお宅の中には若光の重臣であったという家もあります。

高麗井さんはまだ近くにいらっしゃるのですか。
高麗 日高市内



県内最古の高麗家住宅(国指定重要文化財)

におられます。ただ、今では「駒井」に変えています。

金子十郎の金子郷も含む

鎌倉時代に頼朝を支えた武蔵武士の金子十郎の出身地金子郷(今の人間市)も高麗郡域に含まれるようですね。

高麗 人間の金子地域も当然入ります。特に、あそこには窯跡がありま

す。高麗郡にとっては重要な窯です。

窯とは。

高麗 生活のものから祭祀に使うものまで様々な土器、須恵器を焼いていたようです。それは高麗郡ができたときにはすでに成立していました。たとえば国分寺を作るときの国分寺瓦はそこで焼いています。

金子氏が入植した1799人の末裔である可能性はありますか。

高麗 100%そうだとは言いませんが、非常に関わりが深い場所なので、あるいはそうかもわかりません。高麗郡の外にあつたからと言って関わりがないとは言えません。逆に先にきちんとした支配者がいたところですので、そこから様々なものを提供したということだと思えますね。そもそも入植した渡来人だけで郡が成立したのでしょうか。

高麗 普通に考えれば、初期でも入植した人だけで開拓するなどありえない話ですので。外部の力も借りながら当然やっていったわけですね。

高麗神社の他に現在残っている史跡はありますか。

高麗 生きた史跡として有力なのは高麗神社と聖天院だと思えますが、遺跡となっているのはいくつかあります。今、日高市で文化財の担当者が発掘調査を続けていますが、その中にも高麗郡建郡の初期のころに作られたであろう「住居群」とか、あるいは水田跡もありまして、建郡からしばらくたつて郡内に建立されたお寺の跡もいくつか発掘され調査もされています。

出世開運の神様に

高麗神社は地域のシンボルとして続いたということですね。
高麗 時代によって浮沈

はありますが、高麗郡は基本的には19世紀の終わりまで存在し、その中にある高麗神社ですので、高麗郡と高麗神社は歴史的な相関関係は認識されていたと思います。

やはり信仰は渡来系の方が主なのでしょうか。

高麗 それは違うと思います。血脈についての意識は明確ではないですが、私の家のように高麗を名乗り、高麗神社の祀りごとを司る役目をずっと継ぎ、家系図も残っているというなら自覚するでしょうが、私の家でも子孫を残していく過程で、高麗人とは関係のない人とも結ばれているわけですから、私にとっての先祖の1つの筋が高句麗につながるということ、当然ここにお参りする方が高麗人につながるという意識で来ているわけではないですね。

高麗神社は出世関連の神様に見られているよう



ですが、何か理由があるのですか。

高麗 明治期以降に、神社の由緒米歴に関心を持った方たちがお参りし、その中に当時の有力な政治家の方が何人もいて、総理大臣になったり国務大臣になった方がかなりいらつしやつたので、新聞紙上に「出世明神高麗神社」という言い方で記事になったのが始まりですね。実際出世関連の神様という言い方が定着する

のは、昭和に入ってからです。

若光の菩提を弔う聖天院

歴代首相による献木

神社の隣にあるお寺の聖天院（しょうでんいん）は若光が仏教を信仰していたことから建てられたのですか。

高麗 当時の日本ではすでにお寺を建てて仏教を信仰する

こちらが広まっています。日本に仏教が伝わり150年以上たつており、高麗郡ができた少し後の時代になると全国に国分寺を建立の詔（みことり）を出しています。地方を治める豪族たちはこぞつてお寺を作りました。それは1つの文化的なステータスだつ

たんです。ここにやって来た高句麗人たちもそのような時代背景の中で仏教に対する信仰は持っていたということ。聖天」とは。

高麗 聖天は歡喜天の別名です。

宗派は真言宗なのですが。

高麗 宗派は変わりますが、里のお寺は入ったお坊さんが何宗であるかで変わ



聖天院を望む

りますから、一貫して同じ宗派というのはそんなにないです。武蔵国では江戸時代になると、新義真言宗が教線を伸ばしてきます。

ずっと高麗家の菩提寺ではあるのですか。

高麗 これは、どう申し上げたらよいかわかりませんが、高麗家の菩提寺という認識が今あるかと言つと、ないんです。今は我々のお葬式は仏式ではなく神道式になります。江戸時代の終わり頃には、当時は高麗家は修験をしていましたので、神道式ではないですが修験のやり方でお葬式をしていました。それ以前、江戸時代の初めから途中までは、幕府の決まりで仏式でお葬式をあげていましたので、その時には聖天院さんをお願いをしていました。

聖天院の縁起では、聖天院は若光の菩提を

申つために建立されたお寺と言われています。聖天院の住職は高麗家とは関係のない人です。高麗 現在の住職と血縁関係はありません。お互いに隣近所のおつきあいですね。

建郡1300年はいつになりますか。

高麗 平成28年(2016年)になります。

意義はどのように表現したらよいでしょうか。

高麗 元々閑地であった土地に高麗人たちがやってきた。彼らは国を失ってしまった人たちで、あらためて自分たちの国と同じ名前をつけた場所を与えられてやってきた。その場所を開拓してできた土地ですよ。

高麗郡が廃止されて100年以上たっています

2016年が建郡1300年

すので、今さら高麗郡をなぜ言い出すのかというところもありますが、高麗郡が置かれたことでの周辺地域が新しい時代、段階に入っていたエポックメイキングのような意味があるのだと思います。

渡来人ですので、元々は高麗を出自とする人たちが集まってきたいるわけですが、この土地で子孫が繁栄していき、現在の日本人にとっては彼らも先祖の1部であるということだと思います。いろいろな捉え方があるとは思いますが、神社としては旧高麗郡地域の住民やこの地域の歴史に興味を持った方々、高麗神社を崇敬する皆さんがあらためて先人を敬意感謝をしつつ、さらに今後の発展、未来を考えていく機会にしたいと考えています。

日本に来て定着していったことをあらためて学べ、韓国がすぐく身近になります。

高麗 韓国という言い方をすると多くの皆さんのイメージがはっきりしてよいのですが、私たちが基本に考えているのは、高麗という国からやってきた人たちのことで、歴史的に缶上げればそれは決して韓国だけにとどまりません。ただし他の外国の人々に比して韓国の皆さんが古くから当社を訪れていたことも事実で、韓国の人々の高麗に対する親近感を考えれば自ら交流を結んでいくことになると思います。

一方で今回の事業の可能性を広げていく要素として、高麗は日本にも重要な国であり、中国にとってもそうであり、東アジアの中で一定の存在価値をもった国であったといつ捉え方をしてイメージをふくらませていければ

ばと思っています。日本に渡来したのはよほど位の高い人たちでしょうが。

高麗 百済も滅んだときには大量の百済人が日本に入ってきています。当然新羅の人たちも入ってきていますし、高麗人も文献に表れただけで1799人ですからかなりの人が来ているわけです。その人たちがすべて王族や貴族かというふうではないと思います。

明治の高麗郡で1799人の人の子孫がどのくらいウエートを占めていたか推測でもありませんか。

高麗 人口統計学で言うと、相当の数になってしまつようです。逆に科学的推計から、1799人は多すぎるとは言われませんか。この地域はかなりの人が渡来系の子孫ということになりますね。

です。そのことを前提として考えると、必要なのは日本人の成り立ちの中にどういふ風な要素があるかを考えることであると思います。

すでに記念事業を実施

どのような記念事業を行っていますか。

高麗 高麗神社としては平成13年からすでに取り組んでいます。多くは文化事業です。まず1つは社史編さんです。高麗神社あるいは高麗家に伝わる古い文献を、翻刻をして研究材料として提供するというところで、すでに

何巻か発行しています。それから期間を決めて、様々な文化的なイベントを行っています。5月16日が「続日本紀」に記されている高麗郡建郡の日なので、新暦と旧暦の違いはありますが、数字だけ合わせてその日に「高麗郡建郡記念神宮感謝祭」

高麗 人が動くのは当然

というお祭りをして、その後の土日を使って、「高麗郷地場産チャリティバザール」という催しをやっています。これはこの地域で製造販売しているお店に店を張っていただき、売り上げは様々な先に寄付をさせていただくという事です。

この土地にやってきた高麗の人たちが最初はセロから始まったわけで、ゼロから土台を築いていただいたことへの感謝の気持ちで、地域に住む人たちにも発展のために尽くしていたらこうということに興味としています。このバザールに賛同して毎年商品を提供してもらっている人たちで、「高麗郷S」というグループを結成して、1300年に向けた地域興しに尽くしていこうと今活動しています。

6月になると、「渡来人の里講演会」という講演会をやっています。11

年で8回目です。高句麗、高麗郡、高麗家、高麗神社に関わりのある演題で、外部から講師を招聘して聴いていただく。毎年200名前後の方に聴講していただいています。

9月半ばから11月終わりにかけては、「高麗郷文化フェスティバル」というタイトルでくくり、期間中に土日が多いですが様々なイベントを開いています。高麗神社に伝わる文化財展とか、雅楽の奉納演奏会とか、韓国の伝統音楽のコンサートとか。これも平成14年から始めています。

私が考えたことは、これらを通じて多くの方に高麗郡という郡があったことをまず知ってもらうことです。おかげさまで取り組みから10年たち、日高市民の方たちには高麗郡という存在がある程度お伝えすることができたかなと思っています。ただ、旧高麗郡という範

囲を考えてみると、まだ十分に認識されていないという現状もありますので、今後様々なイベントを通じて多くの人に知っていただきたいです。



記念事業(チャリティバザール)

ことですが、それはあくまで高麗神社の考えていることです。この土地に住んでいる方たちにとっては別の捉え方で建郡1300年をお祝いできるのではないかと私は思っています。

多岐の方たちがお祝いをさせていただきたい。「高麗郷S」も作りましたし、11年6月27日には高麗郡建郡1300年記念事業委員会が結成されました。私も発起人の1人ですが、多くの方にお声がけをさせていただいたのは、そのような思いがあります。多くの人たちに広く、この機会に知っていただき、先人に対する感謝の気持ち、地域の未来を考え、作っていったという機会を提供させていただきます。委員会に自治体は参加

しているのですか。

高麗 委員会の中ではなく、委員会に関わる顧問会に旧高麗郡外の地域も含め7市2町の首長にもお入りいただいています。

これは、委員会の考え方として、旧高麗郡の中だけでなく、関連地域にもできるだけ多くの方々にお祝いをしていただきたいということ、新高麗郡」という概念を提示して、その中でご賛同いただける方たちに入っていただくということです。まず知ってもらうことが大事ですね。

高麗 まず多くの方々に高麗郡を知っていただくこと、それから2016年に1300年になることを知っていただくこと、そして記念事業委員会が何を考えているかを知っていただくことが重要かなと考えています。